



老子講義

佐藤楚材著

六

□13
6
6



門仁13
號 6
卷 6



老子講義卷六

高橋磯八郎

石橋尚寶 全校

陸 鉞巖

牧山佐藤先生著

六十五章

章意 此章古ノ聖人國ヲ治ムル朴實ヲ以テ要トシ玉

ナリナリ
ヘリサレバ智術ヲ以テ動カスベカラザル一ヲ云

古之善為道者。非以明民將以愚之。

義解 古ノ清淨無為ノ道ヲ為シ行フ者ハ民ヲシテ才智ア

老子講義

卷六

六十五章

三論氏藏版

リテカシコカラシメントスルニ非ズマサニ以テ民ヲ
シテ有リツル才智モカクレテオロカナラシメントス
ルナリソハカシコキハ巧詐多クオロカナルハ無智無
欲ニシテ自然ノ性ニ順ヘバナリ

民之難治以其智多。

義解 民ノ治メガタキハソノ猿智慧多クシテ巧ミ詐ルヲ
以テナリ

故以智治國國之賊。

訓字 賊ハ害ナリ
義解 コノ故ニ上ヨリ智ヲ以テ仕向ケ玉ヘバ民亦智ヲ以

テコレニ應シ思惟イヨク密ニシテ巧詐マスキ長ジ國
騷ガシク終ニハ亂ニナルナリ故ニ曰以智治國國之
賊ナリ

不以智治國國之福。

義解 上ヨリ智巧ヲ以テセズソツト静ナル仕向ケヲナシ
玉ヘバ民亦騷ガシカラズシテ上安ク下泰ナリ故ニ曰
不以智治國國之福ナリ

知此兩者亦贊式。

訓字 稽ハ同ジキナリ
義解 此兩端ヲ心得バ古今同ジキ法ナリ

常知誓式是謂玄德

義解 常ニコノ古今同ジキ法ヲ心得タルヲコレヲ玄德ト云ナリ

玄德深矣遠矣與物及矣然後乃至大順

義解 ソレ玄德ハ深クシテ淺ハカナラズ遠クシテ近カラ

ザルモノナリソモクソノ玄德ノ人ハ天下ノ人ト共ク

ニソノ天性ノ自然ニ及リ己ノナシ得ルサマクヲナ

シテ天下大順ニ至ルナリ以上本文ヲ説キ了 大順トハ一通リ治

マルト云ヨリモハルカニ大ナルナリ我性分ヲ盡シ

人ノ性分ヲ盡サシメ禽獸草木ノ性ヲ盡シ天地ノ化育

ヲ助ケ人物各其生ヲ遂ゲ其所ヲ得無為ニシテ無事ナ

ルヲ大順ト云ナリ鑿井而飲畊田而食帝力何有於我哉

ト云ヘルガ如キハ大順ノ至ナリ

論餘 熊澤了介曰老子民ヲ愚癡ニシテ頑妄ナラシメント

思ヘルニ非ズ世間機巧ノ智利害ノ謀ハ万惡ノ源ナレ

バコノ源ヲ塞ガントスルナリ機巧利害ノ智ヲ尊ブ者

ノ目ニハ無欲正直ノ人ヲバ愚ナリト思ヘリ誠ノ道ニ

明カナル者ハオノヅカラ謀計邪偽ニ拙シ世ノ教フル

者人ヲシテ徳ニ入ラシムルヲ能ハズシテ才智ヲ長ゼ

ントス誠ヲ思ハシメズシテ機智ヲ開カントス是世ノ

老子集義 卷六 三論氏載反

明カニスルト云ハ偽ニ近シ故ニ老子歎キテシカ云ヘ
リ徳ハ拙ニ似テ愚ナルガ如シ愚ニセントスルハ徳ニ
近付カシメントナリ

六十六章

章

此章ハ人君無我ノ謙徳アレバ天下歸服スル

江海所以能為百谷王者以其善下之故能為百谷王

義解

人ニ有リタキハ無我ノ徳ナリソレ江海ハ大ニシテ
王ノ如ク百ノ谷川ハ小ニシテ臣ノ如シモシ江海高キ
處ニアラバ百ノ谷川ノ水ハアツマルマジキナリ江海

是以聖人欲上民必以言下之欲先民必以身後之

義解

ソレ謙徳ノ貴キ如此是ヲ以テ聖人ハ民ニ上タラン
トスレバ必以言下之ミヅカラ孤寡不穀吾身ハヨカラ
ヌモノト卑下シ玉フナリ民ニ先ダントスレバ必以
身後之マツ下ノ為民ノ為トナシ玉フナリ

是以聖人處上而民不重處前而民不害

義解 凡ソ高ブルモノハニクミ驕ルモノハキラフ人情ノ常ナリ然ルニ聖人ハソレカク謙リ玉フ是ヲ以テ民ノ上ニ居玉ヘ氏民ウツトシトセズ民ノ前ニ居玉ヘ氏民害トセザルナリ

是以天下樂推而不厭以其不爭故天下莫能與之爭。

義解 ソレカク謙リ玉フ是ヲ以テ天下ノ人打チ舉リテ聖人ヲ悦ビ樂ミテ推シ崇メイツマデモ厭ヒアクナシソモく聖人ノ推シ崇メラレテ上ニマシマスハ上ニ居ラントシテ人ト争ヒ玉フニアラズ故ニ天下ノ人誰一人能ク聖人ニハリ合ヒ争フモノナクシテ皆下トナリ

テ服スルナリ以上本文中庸曰日月所照霜露所墜ノカギリハ尊親セザルモノナシトカ、ル聖人ノヲ云ナルベシ

論餘

此章專謙德ノ尊キヲ示シ謙德アレバ天下ノ人推シ崇メテ厭フナシト云ヘリ然レバ謙德ナケレバ天下ノ人推シ崇ムルヲ樂マズ厭ヒイヤガルヲ知ルベシ熊澤了介曰以言下之是亦謙德ナリコノコト古今ニ涉リ考フレバ僅ニ一句ナレ氏係ル所尤大ナリ昔漢ノ武帝連年胡ヲ伐テ天下疲弊ニ堪ヘズシテ大亂トナラントスル折柄始メテ心付キ輪臺ニ於テ詔ヲ作り前非

ヲ悔ヒテツゲ諭サレタレバ天下ノ人感泣セザルモノ
 ナク此一詔ニヨリテ天下ノ人心ノ離レタルヲ引戻シ
 テ天下亂トナラザリシト云ヘリ又唐ノ德宗ノ時天下
 亂レ人心離ルソノ臣陸贄申ケルハ德ヲ以テ人ヲ感ズ
 ル一能ハザレバセメテハ言ヲ以テ動カスベシトテカ
 ヲ奮ヒ詔ヲ作りテ天下ニツゲ諭セシカバ是亦天下ノ
 人感泣シテ終ニ德宗ヲタスケソノ勢ヲ立直セリコレ
 ミナ僅ニ一言ニテステニ亂亡ニ及バントスル天下ノ
 大勢ヲ挽回セリ以言下之ノ金言其效如此昔豊臣太閤
 明智光秀ト山崎ニ於テ合戦アリソノ戦ニ勝チテ駕籠

ニテ歸リサマニ駕籠ノ中ヨリ瀨兵大儀ト聲ヲカケラ
 レシヲ中川瀨兵衛不禮ヲイキドホレリト云ヘリ人ノ
 心ハアツカヒヨク又アツカヒニクキモノナリ今モシ
 百金ヲ與ヘンニソノ恩ハ悦ブベケレ氏ソレガ為ニト
 テ命ハスチズタゞ一言ノアリガタキニハ命モスツル
 ハ人ノ情ナリコレ古聖賢ノ言ヲ重ンジ玉フ所以ナリ

六十七章

意章 此章三寶ノ貴キヲ明ス先儒ノ説ニ老子一部ノ

第一切要ノ章ナリト云ヘリ

天下皆謂我道大似不肖夫唯大故似不肖若肖又奚其細也

夫。

訓字

我トハ老子自ラ謂フナリ不肖トハ古人ノ註ニ不肖

父ト云フナリト云然レ氏スベテ肖似近ナド云詞ハ善

ニ肖善ニ似善ニ近シト云フナリ故ニ不肖トハ不肖善

ノ意オロカナルフナリ肖トバカリアレバ肖善カシコ

キラ云ナリ

義解

天下ノ人打テ舉リテ我道ハオロカナル者ニ似タリ

ト云ヘリソレタゞ我道大ナルガ故ニ素人眼ニハオコ

カトミユルナリ若カシコクミエテ素人ノホムルホド

ノ道ナラバ久シキ昔ヨリ瑣細ノ道ニシテ貴ブニ足ラ

ガルナリ

我有三寶持而保之。一曰慈。二曰儉。三曰不敢為天下先。

義解

サレバ我道ヲ語ランソモク我ニ三寶アリ我持テコ

レヲ大セツニ保テリソレコノ三寶人々誰モアルモノ

ナレ氏猿智慧ノ為ニ失ヒ私欲ノ為ニ亡ボシテアハレ

人々持チ得ガルナリソレ我三寶ハ一ニ慈ト云ニ儉

ト云ニ不敢テ天下ノ先タラズト云コノ三ツナリ慈ハ

物ヲアハレミイツクシムノ心ナリ儉ハ財用ヲ費シヘ

ラサブルナリ不敢為天下先トハ謙徳ナリ我一番先ニ

進ムフヲセガルナリコレコノ三寶コソ即我道ナレ

慈故能勇。儉故能廣。不敢為天下先。故能成器長。

訓字 廣ハ廣大ナリ。之シキ一ナキナリ。大ソウニスル一ナ

リ成器ハ万物ノ一ナリコ、ニテハ万民ヲサシテ云長
ハ君長ナリ上タルヲ云ナリ

義解 サレバ試ニ三寶ノ驗ノ廣大ナル一ヲ云ハシ夫慈モ

テイツクシミアハレム故ニ能ク物ニ恐レヌ勇氣アリ
雞ノ子ヲ育ツルトキニハ雌トイヘ氏人ニモ怒リ向フ

モノナリコレ其証ナリ儉ニシテ財用ヲ費シヘラサズ
故ニ財用廣クシテ乏シカラズサシツカヘル一ナキナ

リ不敢為天下先シテヒカヘメナリ故ニ能ク万民ソノ

謙徳ニ歸服シテコレニ君長トナリテ上ニ立ツ一ヲ得

ルナリカ、ル廣大ノ驗アリ豈貴キ寶ニハアラズヤ

今舍慈且勇。舍儉且廣。舍後且先。死矣。

訓字 後ハ不敢為天下先ノ一句ヲ一字ニ縮メテ云ヘルナ

リ意ハ同ジ一ナリ

義解 アハレムベキハ世人ナリカ、ル貴キ三寶ノ理ヲ夢

ニモ知ラズ勇ハ慈ヨリ出ヅルモノナルヲソノ本ノ慈
ヲステ、始ヨリ勇ナラントシ廣ハ儉ヨリ出ヅルモノ

ナルヲソノ本ノ儉ヲステ、始ヨリ財用ヲ廣大ニ用キ
ントシ人ニ先ダツハ不敢為天下先シテ後トナルヨリ

出ヅルモノナルヲ後タル道ヲステ、始ヨリ人ニ先ダ
、ントスカ、ル無分別ノ者ハソノ身命ヲハタサンノ
ミイカンヅ全キヲ得ベケン

夫慈以戰則勝。以守則固。天將救之。以慈衛之。

義解

コ、三寶ノ内ノ一ヲ舉ゲテソノ餘ノ例トスソレ慈
ノ心ナレバ上下一同相互ニイツクシミアハレミ上ハ
下ヲ身ニカヘテ見放サズ下ハ上ヲ命ニ換ヘテ見捨テ
ズ一和一心ナリ是ヲ以テ敵ト戦ハバイカナル大敵ニ
モ勝ツベシ是ヲ以テ國ヲ守レバイカナル大軍ニテ押
シ寄スルモソノ守堅固ニシテ危キナシ天下大勇何ヲ

以テカ之ニ加ヘンソノ上天ヨリモコレヲ救ヒテ福ヲ
與ヘ玉フハコレ慈ノ徳ヲ以テソノ身ヲ守レバナリ

六十八章

章意

此章及び次ノ章トモニ謙ノ大用ヲ明ス夫軍ハ
モト争ヒノナリ然ルニ其勝ヲトル所以ハ争ハ
ズシテ謙己ニアリト云ハ誠ニ凡人ノ思ヒハカラ
ザルナリ

善為士者不武。

訓字

武ハタケク手暴ナルナリ

義解

ソレ善士ト稱スベキ者ソノ人タケク手アラニ威勝

ナラズヤハラギタルモノナリ

善戰者不怒。

義解 ソレ戦ノ上手ナル者ハ性急ナルモノ、一旦ノ怒ニ

忍ビ兼テ勝算ナキ軍スル如キナク怒テカ、ルナハ

セザルナリ

善勝敵者不與。

訓字 與ハ相手ドリ決戦スルヲ云ナリ

義解 ソレ勝ツノ上手ナルモノハ敵ノ相手トナリ死ヲ

極メテ決戦スルナク手がルク勝チヲトルナリ先儒

義經ヲ戦上手ト云コノ類ナリ

善用人者爲之下。

義解 ソレ高ブレバ惡ミ謙レバ悦ブハ人情ノ常ナリサレ

バ人ノカラ用キ人ヲ使フノ上手ナル人ハ謙リ玉フ

ナリソレ故ニ人悦ビ死カヲ致シ戦ハバ勝チ守レバ固

ク我欲スル所ノ如クナラザルナシ

是謂不爭之德。是謂用人之力。是謂配天古之極。

義解 ソレ是ヲ人ト争ハズミテ謙ルノ徳ト云ナリ又是ヲ

人ノカラ用キルヲ得ルト云ナリ又是ヲソノ量ノ廣

大ナル天ノ無窮ニ並ブベシト云ナリ是古ノ至極ノ道

ニシテコレニ勝ル徳アラジタミカケテ賛歎スルハ

人ヲシテ能ク心得シメントスルナリ

論餘詩ニ云柔嘉維則トコレ周室ノ名將仲山甫ヲ稱セル

詞ニシテ此章ノ旨ト符合セリ想フニ知剛知柔花モ實

モアル大將ナルベシ惜哉我邦源義經ノ如キハ古今ノ

名將ト稱スレトバ此變化ノ妙用ニ暗カリシ善用

久者為之下後漢ノ馬援公孫述ト舊識ナレバ遙ク行テ

從ハントセシニ公孫述驕リ高ブル體アリケレバ見カ

ギリ去テ終ニ光武ニ從ヘリ我邦鎮守府將軍俵藤太モ

初ニ相馬將門ニ從ハントシテ行キシガ將門ノ高ブル

ヤウヲ見テ厭ヒニクミテ從ハズ終ニ將門ヲ攻メ滅ボ

セリコレ皆ミヅカラ高ブルモノ、人ノカラ用キル
ヲ得ザルヲミルベシ

六十九章

章意此章言ハ兵ノ強弱勝敗ハ將タル者ノ慈心ニア

リ慈心アレバ勝チ慈心ナケレバ敗ルコレイマダ

兵ヲ交ヘズシテ可知ナリ孟子曰不嗜殺人者能

天下ソノ説全ク同ジ

用兵有言吾不敢為主而為客不敢進寸而退尺。

訓字主トハ軍ノ發頭人トナリ我ヨリ軍起スナリ客ハ

ウケ方相手方トナルナリ進ハ争フ意アルナリ退ハ

争フ意ナキナリ

義解

ソレ兵ハ凶器戰ハ危事モトヨリ人ヲ殺スノナリ

慈心アル者ノ好ム事ニアラズ不得已ノナルノミ

發端

サレバ古ノ兵家言ヘルアリ我敢テ軍ノ發頭人ト

ナリテ亂ヲ興スヲセズシテ敵ヨリシカケ來レバウ

ケ方トナリテコレヲ伐チ除ルノミ吾敢テ進ムハ一

寸モ進マズシテ退クハ一尺モ退キテモトヨリ我ニ

争フ意ナキナリ

是謂行無行。攘無臂。仍無敵。執無兵。

訓字

行ハ行軍ナリ軍ヲ押シ出スナリ無行ノ行ハ行列

ナリ攘ハウデマクリスルナリ扱ハ就ナリツキヨリ

相戰ハントスルナリ兵ハ武器ナリ

義解

我ヨリ軍ヲ興サズ敢テ進ムヲ好マガルヲ是ヲ行

列アレヒソレヲタノミニシテ押し行クヲセザレバ

押し行クニ行列ナキモ同様ナリ臂アレヒソレヲタノ

ミニシテ攘ゲアゲ打テカ、ラザレバ攘ゲルニ臂ナキ

モ同様ナリ敵アレヒソレヲ目指シテ扱キ寄テカ、ラ

ザレバ扱キ寄ルニ敵ナキモ同様ナリ武器アレヒソレ

ヲ持テ戰ハントセザレバ執リ持ツニ武器ナキモ同様

ナリト謂フナリサレバ我ニアルヲ恃ミニセズ彼ナル

敵ヲ輕ンゼズ臨事而懼好謀而成者也

禍莫大於輕敵輕敵幾喪吾寶

夫敵ヲ侮リ輕ンジテカルシク驕リ進メハ疎忽多

クシテ必大敗ヲトルモノナリ以上發端禍ハ敵ヲ侮リ輕ン

ズルヨリ大ナルハナシ敵ヲ侮リ輕ンズレバ我慈儉謙

ノ三寶ヲ失ヒ國家ノ存亡万人ノ死生ニカ、ル其可不

思哉

故抗兵相加哀者勝矣

哀ハアハレム慈愛ナリ

義解カ、ルワケ故ニ兩軍推シ出シ相戰ハンニハ慈愛ノ

心アル者必勝ツヨナリソハ慈愛ノ心アル者ハ万民ノ

死傷ヲイトヒ思フテ必謹慎鄭重ニテ疎忽ニセズ敢テ

主トナラズ敢テ進マズソレ上トシテ下ヲ思ヘバ下亦

上ヲ思フナリソノ心一致一和シテ矢石ノシゲキ雨露

ノ中ト云ヘル敵ニ後ヲミスルモノナク各必死ノ士ト

ナルベシ一人必死ノ士トナレバ十人ニ當リ十人ハ百

人ニ當リ百人ハ千人ニ當リ千人ハ万人ニ當リ兵威ノ

ツヨキ前ニ立ツ者アルベカラズシカノミナラズ慈愛

ノ心アル者ハ天地タスケ神明マモリ必勝ヲ得ル所以

ナリ

七十章

意章 コノ章ハ聖人^ノ和光^ノ徳ヲノブルナリ

吾言甚易知甚易行天下莫能知莫能行

義解 吾言ハ甚知リ易ク甚行ヒ易シ然ルニサシモ廣キ天

下ニ能ク知ル者ナク能ク行フ者ナキハイブカシキ丁

ドモナリ

言有宗事有君夫唯無知是以不知

訓字 宗君トモニ主意ト云ガ如シ

義解 ソモク吾言ニ主意アリ無為ニシテ自然ナルベシト

云コレ主意ナリ吾ナス事ニ主意アリ無為ニシテ自然

ナルハコレ主意ナリコノ主意ダニ心得ナバ吾言ヲ知
ルベク行フヲ得ベキナリ夫唯コノ主意ヲ知ラズソ
レ故ニ吾言ヲ知ル者ナク行フ者ナクシテ我ヲ知ラザ
ルナリソレ我ヲ知ラズトテ名ヲ聞カザルニモアラズ
面ヲ知ラザルニモアラズ我心我徳ヲ知ラザルヲ我ヲ
知ラズトハ云ヘルナリ

知我者希則我者貴

義解 ソレ世ノ人ノ埋^モレ木ノ花咲ク^サノアリヤナシヤト

色ヲモ香ヲモ知ラン人ヲカコチ歎クハ皆凡情ノミ

以上 我ヲ知ラザルコソイト喜ブベケレ童子ハ大人

ノ事ヲ知ラズ凡夫ハ聖人ノ上ヲ知ラズコレ境界ノタ
ガヘルガ故ナリサレバ我ヲ知ル者稀ナルハ我凡夫ヲ
離レ類ヲ出テ萃ニ拔ンデタルガ故ナレバ我ハ貴キモ
ノナリ

是以聖人被褐懷玉

訓字 褐ハ賤者ノ服ナリ毛ヲ織リ入レタルモノト云ヘリ
被褐ハ外ヲ飾ラザルノタトヘナリ懷玉ハ内ニ徳アル
ニ譬フルナリ

義解 ソレコノ故ニ聖人ハ世ニ知ラレシヲ求メ玉ハズ
光ヲ和ゲ塵ニ同ジウシソノ賢ヲ顯サントシ玉ハズ外

ニ見ニクキ服ヲ被テ内ニウルハシキ玉ヲ懷キ玉フガ
如クナリ中庸ニ衣錦尚絅其意同ジコレ皆古聖賢世ノ
小人ノ内虚ニシテ外ヲ飾リ人ヲ欺キ名ヲ盗ムトヲ戒
メ玉フナリ

七十一章

章意 コノ章モ同ジク和光ノ意ナリ

知不知上不知知病

義解 道ヲ知リナガラソレヲ面ニ顯サズシテ知ラザルフ
リナルモノハ上タル人ナリ道ヲ知ラズシテ虚ヲ飾リ
知レルフリスル者ハ人ノ病ナリ

夫唯病病是以不病。

義解

ソレタゞ病ヲ病ト心得テ知リタルフリヲセザルナ
リコ、ヲ以テ病ナキ人トナルベキナリ

聖人不病以其病病是以不病。

義解

ソモく聖人ハ病ナキモノナリソハ聖人ハ知リタル
フリスルノ病ヲ病ト心得玉ヒテ其フリヲナシ玉フ
ナシ是ヲ以テ病ナキモノナリ

七十二章

意章

人君ハ清静謙後ヲ以テ國ヲ治メ玉フベキヲ

民不畏威則大威至。

訓字

義解

大威ハ天罰ナリ
ソレ國ヲ治ムルニ上タル人欲ヲ恣ニシ威ニ任セテ
ナス時ハオノヅカラ無理ナル仕向ケ出來テ威輕クナ
リ下タル者上ノ威ヲ畏レズ侵シ慢ルニ至ルナリ以上
ソレ下タル者上ノ威ヲ畏レズ侵シ慢ルニ至リテハ上發端
下トモニ亂レテ天罰至リ國家滅ブルニナシトスル
ナリ

無狎其所居無厭其所生夫唯不厭是以不厭。

訓字

所居ハ註ニ云清淨ノナリ清淨ナルハ安泰ナル居

リバナリ故ニコレヲ所居ト云所生ハ註ニ云謙後ノ一
ナリ謙後ナレバ安全ニシテ生キナガラフル一ヲ得ル
ナリ故ニコレヲ所生ト云ナリ

義解 サレバ人君國ヲ治メ玉フニヨク心シ玉フベキ一ア

リソモク清淨ナルハ安泰ナル所居ナリソノ所居ヲ狎
シク離レテ躁ガシク欲ヲ恣ニシ玉フ一ナカルベキナ
リ又ソノ謙後ナルハ所生ノ道ナリソノ所生ノ道ヲ厭
ヒ棄テ、威權ニ任セテ推シツケ為シ玉フ一ナカルベ
キナリソレ唯コノ所生ノ道ヲ厭ヒ棄テズ威權ニ任セ
推シ付ケ玉フ一ナシ是ヲ以テ下タル者亦人君ヲ厭ヒ

離ル、心ナクシテ推シ戴キ仰キ貴ビ奉ルナリ

是以聖人自知不自見自愛不自貴故去彼取此。

義解 是ヲ以テ聖人ハ自ら道ヲ知レ氏自ラソノ賢ヲ見シ

玉フ一ナク能ク晦マシテ目立タマヤウニナシ玉フナ
リ自ラ其身ヲ愛スレ氏自ラ貴キ體ヲナシ玉フ一ナク
能ク賤シウシテ高ガリ玉フ一ナキナリ故ニ彼ノ恣ヲ
恣ニシ威ニ任ズルノシカタヲ捨テ、此靜ニシテ謙ナ
ルノシカタヲトリ玉フコレ國家太平長久ナル所以ナ
リ

七十三章

章意 コノ章天命ノ畏ルベク報應ノ昭然ナルヲ云
テ人ニ忽ニスベカラザルヲ示スナリ

勇於敵則殺 勇於不敢則活

訓字 敢ハ推シツヨキヲナリ不敢ハ即堪忍ノヲナリ

義解 凡ソ人ノスル所利ナラザレバ害害ナラザレバ利利

害ノ二端ニ出デズコレ慎ムベキノ所以ナリ今夫人ノ

事ヲナスニ暴虎馮河敢テ強暴ナルヲニ勇ナレバ人ノ

害世ノ妨ゲナルヲ多クシテ終ニ犬死イダジニヲトグルモノナ

リ又臨事而慎不敢シテ堪コラヘ忍シブニ勇ナレバ時處ノ

考ヘアリテ宜キニ適ヒ身ヲ保テ活イキナガラフルヲ

得ルナリ問テ曰九ソ敢カ往ミ敢カ為キナド云氣概ハ人ノトリ

得ニモ見ユルヲナルニ今カク云ヘルハイカナルヲナ

リヤ答テ曰スベテ人ノ事ヲナスハ道理ニ循テスルヲ

ニテシカク氣ヲイラツニハ及バザルヲナリ氣ヲイラ

チテスル者必理モナク法モナキシワザトナルナリ然

レバ其身殺サルニ至ルヲアルベキナリ

此兩者或利或害天之所惡孰知其故是以聖人猶難之

義解 敢テスルニ勇ナルモノト不敢ニ勇ナルモノト此兩

者一ツハ身ヲ保ツヲ得テ利アリ一ツハ犬死イダジニシテ害

アリソモク敢テスルニ勇ナルモノハ天ノ惡ム所ナリ

サリナガラ天道幽遠ニシテソノ惡ミ玉フ所以ヲ知ル
モノナシ是ヲ以テ聖人ノ大徳スラ猶敢テスルニ勇ナ
ルヲハナシ難キトシ玉フナリ

天道不爭而善勝不言而善應不召而自來繟然而善謀

義解

ソレ天道ハ測ルベカラザルモノナリ天ノ勝ハ人ノ
カラ以テ一旦ノ機ヲ争フテ勝ツガ如キモノニ非ズ争
ハズシテ善ク勝ツモノナリソハ人ノ勢強クシテ天ノ
意モ通りガタキ時ニハ争フテ強ヒテ通サントシ玉ハ
ズ人ノ勢ニ任セ置キ玉ヒ善人ニ禍アルモアリ惡人ニ
福アルモアリ禍福吉凶當ヲ得ザルトモアレ氏ヤガテ

人ノ勢衰フル時ニ至リテ天ノ意通りテイヨク善人ニ
ハ福アリ惡人ニハ禍アリテツヒニ天ノ意ノ如クナリ
譬ハバ山ニ火ヲ放チ燒キ立ツルニ山ノ上ニ多クノ人
アリテ扇ギ防ギナバ火ハ燃エアガルトナラザレ氏扇
ギツメニモナラザレバ人ノカヤノ衰フルトキニ至リ
テハ火ハモトノ如ク燃エ上ガルトナリコレヲ不爭而
善勝ト云ナリ語曰人衆勝天天定勝人トコノトナリ又
天ハ人ノ如ク言ヲ以テ應ズルモノニアラズ天ハ言ヒ
玉ハザレ氏善ニ福惡ニ禍ソノホドクニ應ジテ違フ
ナキモノナリコレヲ不言而善應ト云ナリ語云出於汝

者及於汝モノナリ又云貨悖而入者復悖而出トコノ一
ナリ又天ハ人ノ召シテ始メテ來ル如キモノニアラス
我ヨリ召サレレ近ク如在其上如在其左右ニシテ人
ノ善惡ヲ照覽シ玉フ一明ナリコレヲ不召而自來ト云
ナリ詩云昊天曰昭與汝出往昊天曰明與汝遊行トコノ
一ナリ又天ハ人ノ迫切ナル如キモノニアラス繹然舒
緩ナルモノナリ冬種マキタルモノ夏實ノリ春花サケ
ルモノ秋熟スル如キニテモソノ様ハ知ルベシ禍福ノ
報應モ固ヨリ速ナルモアレモソノ遅キハ一世二世數
世ノ後ナルモアリテ舒緩ニシテ迫切ナラザルモノナ

リコト繹然然ルニソノ報應ハ人ノ口ヲカリテノブル
モアリ自ラ名ノリ云ハシムルモアリ人ノ手ヲカリ亡
ボスモアリ自ラ亡バシムルモアリソノ様種々ニシテ
テ巧ナルコト人ノ智慧思惟ノ及ブ所ニアラズコト善謀
コレヲ繹然而善謀ト云ナリ入辭ノ常武ヲ父母妻

天網恢恢疎而不失

義解 天ノ網廣大ニシテ網目疎ク善報惡報漏ル、モノア
ル如クナレモツヒニ一人ノ漏ル、モノナク善ニ必善
報アリ惡ニ必惡報アリテ疎ナレモ失ザルモノナリ嗚
呼勇於敢モノ、殺サル、コレ天ノ網ニカ、レルナリ

思ハザルベケニヤ

七十四章

意章 此章邪惡ナル者ハ必コレヲ除ク人アリ我手ヲ

下スニ及バズ只忍ニテ待ツベシト云ナリ

民不畏死奈何以死懼之

義解 ソレ生ヲ欲シ死ヲ惡ムハ人情ノ常況テ父母妻子ア

ル身ニアレバ誰カハ死ヲ畏レザルモノアラシ然レモ

モシ政苛ク民窮シ朝夕ノ烟タチカネ寒サヲ防グ便ナ

ク世ニ頼ミナキモノトナレバ死ヲ畏レズ法ヲ犯シ令

ニ背キ邪惡ヲナシ人ヲ殺シ盜ヲスルニ至ルナリソレ

カク民ソノ死ヲ畏レザルニ至リテハ奈何ゾ死ヲ以テ

コレヲ惧サン死ハ固ヨリ覺悟ナレバ惧レザルベシソ

レ人ノ畏ルハ死ナルガ故ニ上タル人ハ人ヲ生殺ス

ルノ權ヲ執テ下ヲ制御シ玉フナナルニカ、ル人氣ニ

至リナバ世ハ亂ルベシサレバ國ヲ治ムルハ仁政ヲ行

ヒ下豐ナラシメ民ノ死ヲ畏ル、風儀トナラシムベキ

ナリ

若使民常畏死而為奇者吾得執而殺之孰敢

義解 モシ仁政ヲ行ヒ民豐カニシテ其生ヲ聊ンジ常ニ死

ヲ畏レ身ヲ慎ム風儀トナラシメモシソノ上ニ法ヲ犯

シ令ニツムキ邪惡ヲナス者アレバ吾ソレヲ罪シ執ヘテ殺サバ誰カ敢テ邪惡ヲナス者アラン邪惡ヲナス者ナカルベシ

常有司殺者殺。夫代司殺者殺。是謂代大匠斲。夫代大匠斲者。希有不傷手矣。

訓字

司ハ頭取ヲスルナリ

義解

サレドモ邪惡ヲナス者ハ天下人ノ疾ムナレバ常ニ罪アル者ヲ頭取テ殺シ除ル人アリ吾サシ出テ手ヲ下スニハ及バザルナリソレ頭取テ殺ス人ニ代リテ手ヲ下ス一ハ是ヲモノニ譬フレバ下手大工ガ上手ノ大

工ニ代リテ削ルガ如シソレ上手大工ハ上手ナレバ手ハ切ラス下手大工ノ分トシテソノ身ノ程ヲ忘レ上手ニ代リテ削ル者必手ヲ切ルナリユメクナスベキ一ニアラズ俳句ニ夕立ヤ短氣ナ人ハヌレテ行クコノ忍耐性ノナキヲ云ナリ

餘論 朱子嘗曰古今老子ノ教ヲ善ク得タルモノハ張良ナリト然レモ張良モ少年ノコロハ血氣ノ強者ニヤ老子ノ教ハ心得ズ張良ハ韓ノ相家ナリ秦ノ始皇韓ヲ亡ボセル故ソノ仇ヲ報イントシテ博浪沙ニテソノ行幸ヲ狙ヒテ鐵椎ヲ以テ摧碎セントセシニ擊チ損ジテ副車

老子講義 卷六 三十一 三輪氏藏版

二中リタルハ危キ事ト云ベシ其後黄石公ニ兵書ヲ授
カリシコロヨリ道ヲ得タルニヤ後ニ漢ノ高祖ニ從テ
高祖ノ手ヲカリ秦ヲ亡ボシテ君ノ仇ヲ報イ又其後楚
ノ項羽韓ノ子孫ヲ亡ボシタルニコレ亦高祖ノ手ヲカ
リテ項羽ヲ亡ボシテ再ビ君ノ仇ヲ報イツヒニ一度モ
己ガ手ヲ下スナシコレ誠ニコノ章ノ意ヲ善ク會得
シテ大匠ニ代リテ削ルヲセザルナルベシ

七十五章

意章 コノ章ハ國ヲ治ムルニ淡泊無欲ナラザレバ亂
エシヲ生ジ身ヲ持スルニ淡泊無欲ナラザレバ生ヲ喪

ヒイツレモソノ害アルヲノベ戒ムルナリ

民之饑以其上食稅之多是以饑

義解 ソレ食ハ民ノ手ヨリ出来ルモノニテ彼ソノ本ナレ

バ食ニ乏シクシテ饑ユルヲ有ルマジキナリ然ル
ニ民ノ饑ユルニ至ルハ其上タル人ノ年貢ヲ多クトリ
テ民ハ我手ニテ作り得タルモノハミナ上ニ奉リテ乏
シクナルガ故ニ是ヲ以テ饑ユルニ至ルナリ以上本ム
カシヨリ民ヨリ聚斂シテ窮乏ノ餘アツマリテ群盜ト
ナレルヲ多シ秦季ノ亂明末ノ流賊等モ是ナリソノ終
リミナ天下ヲ亡ボスニ至ル唐ノ太宗曰民ノ物トルハ

己カ股ヲ割テ食フガ如シ一旦腹ハ充ツレ氏身亡ブル
ナリトミナコノ理ニヨルオナリ

民之難治以其上之有為是以難治。

訓字 有為ハ無為ナル一能ハズシテ智慧ニテ治ムル一ナ

リ

義解 ソレ民ハ田畝ヲ耕シテ力作ヲ業トスルノミニテモ

トヨリ無智ナルモノナリ然ルニソノ民ノ邪智奸曲ニ

シテ治メ難キニ至ル一ハ其上タル人有為ニシテ智術

權譎ヲ以テ治ムルニヨリ是ヲ以テ民亦狡猾ニナリテ

治メ難キニ至ルナリ

民之輕死以其求生之厚是以輕死。

訓字 生ハ生養ナリ

義解 スベテ生トシ生ルモノソノ命ヲ惜マザルハナシ然

ルニ民ノ輕シク命ヲ喪フニ至ル一ハ各ソノ生養ヲ

求ムル一ノ厚クシテ富貴榮耀ヲ貪リ智ヲ役ヒ身ヲ勞

シ利ヲ營ミ禍ヲ忘ル一ナリ是ヲ以テ輕シクソノ命

ヲ喪フニ至ルナリ

夫唯無以生為者。是賢於貴生。

義解 ソレ只其身ノ生養ヲ有ルニ任セテ何ヒスル一ナク

清淨無為ナルモノハ其生養ヤスクシテ命ヲ喪フノ憂

ナク生養ヲ貴ビ旨トスル者ヨリハ遙ニ賢レルナリサ
レバ万ノ利害ミナ我ニヨルナリ

七十六章

章意

コノ章血氣ノ強ヲ戒ム血氣ノ強ハ所謂暴虎馮
河ノ類ニテ無分別ナルナリ武勇トハ似タル
ノ似ヌナリ能ク思ヒワケテ混同スベカラズ水
戸義公ノ詞ニ無分別人ニオヂヨトコノ類ノ人ノ
ナリ

人之生也柔弱其死也堅強萬物草木之生也柔脆其死也枯槁故堅強者死之徒柔弱者生之徒

義解

スベテ人ノ生ル時ハ其體屈伸モ自由ニシテ柔弱ナ
リソノ死シタルトキハ其體堅強ナリ万物草木ノ生ナ
ルトキハ柔脆ナルモノナリソノ死レタルトキハ堅強
ナリ柳ノ枝ニ雪折レナシト云モ生ニテシナヤカナ
ル時ノナリ枯木トナリテハ堅強ニシテ寸クニモ折ル
ベキナリカ、ル道理ヲ以テミレバ凡ソ堅強ハ死スル
方ノナリ柔弱ハ生クル方ノナリ

是以兵強則不勝木強則共

訓字

義解

共ハクミ合ハスルノ意
是ヲ以テ兵強キハ威ヲ奮ヒ人懐カズシテ終ニ勝ヲ

不得モノナリ木ノ強キハ土臺トナリ棟トナリ種々柱ヲ組ミ合ハセタル下トナリテ壓サル、モノナリ

強大處下。柔弱處上。

義解物ノ常理ニ於テ強大ナルモノハ在下樹木ノ根柢ハ

強大ナルガ故ニ下ニアリ柔弱ナルモノハ在上樹木ノ

枝葉ハ柔弱ナルカ故ニ上ニアルナリ以上本文ヲ説キ了サレバ

後藤又兵衛ガ虎ヲキル、キルハキリタリ仁者ニハア

ラズ佐々木三郎ガ藤戸ノ海ヲ渡ス、渡スハ渡シタリ

智者ニハアラスコレミナ人ノ下トナリテ使ハルベキ

一騎ガケノ武者ニシテ上ニ立チテ人ヲ使フノ任ニ勝

フル人ニアラスカク云ヘバ武勇イカント云者アラン
ソハ又別ノ一ナリコ、ハ只人ノ上トナリ武勇ノ士ヲ
使ヒ玉フ人ノ心得ヲ教ヘタルナリ

七十七章

章意コノ章天道ノ妙ヲ述ベテ聖人天ニ法トリ用ヲ

制シ玉フヲ云ナリ

天之道其猶張弓與高者抑之下者舉之有餘者損之不足者補之

義解天ノ道ハソレ猶弓ヲ張ルガ如キカ弓ヲ張ル者ハ弣

ノ高キヲ抑ヘ弣ノ下キヲ揚グルナリ天ノ道ノ万物ニ

於ルモ高キモノハ抑ヘ玉ヒ滿ハ損ヲ招クナリ下ダレ
ル者ヲ舉ゲ玉ヒ謙ハ益ヲ受クルナリ有餘モノハ損シ
玉ヒ月盈テバ缺クル如シ不足ナル者ハ補ヒ玉ヒ初月
ノ漸ニ増ス如シ

天之道損有餘而補不足人之道則不然損不足以奉有餘

義解 天ノ道ハ有餘モノハ損シ不足ナルモノハ補ヒ玉フ
ナリ然ルニ人ノスル道ハソレト異ナリ貧窮セル民ヨ
リイヨク取リ上グルハ不足ヲ損スルナリ君ハ富ミテ
倉庫ニ財有餘ヲイヨク取リ上ゲテ身ニ奉ガフハ有餘
ニ奉スルナリ

孰能損有餘以奉天下唯有道者

有餘上今本無損字今從古本

義解 今戰國ノ折柄ニシテ無道ノ世ナリ誰カヨク倉庫ニ
有餘財ヲ以テ天下万民ヲ恤ムモノアラシ財散ズレバ
民聚ル天下ノ人心歸服シテソノ國イヨク繁昌ナルベ
キナリアコレタゞ有道者ノミナシツベシカ、ル今
ノ世ニハ有リガタカルベシ

是以聖人爲而不恃功成而不處其不欲見賢

義解 コ、ヲ以テ聖人ハ天下ニ有為レ氏己ガ智ヲ恃ニシ
テ手ヲ下シ玉ハズ功分成レ氏ソノ場ニ居玉ハズ其賢
ヲアラハス一ヲ好ミ玉ハズシテ謙遜ヲ旨トシ玉フナ

リ前ニ所謂有道者トハカ、ル聖人ソノ人ナリ

七十八章

章意 コノ章ハ通篇柔弱ノ用ヲ云ノ結局ナリ柔弱ト

ハ即溫柔ナル一ナリ武暴ニナキ一ナリ謙遜ノ一

ナリ固ヨリ癡人臆病ノ一ニ非ズ後漢ノ光武帝我

天下ヲ治ムル柔道ヲ以テスト云此章ノ旨ト符合

セリ

天下莫柔弱於水而攻堅強者莫之能勝以其無以易之

義解 天下ニ柔弱ナルモノ多クアレハ水ホド柔弱ナルモノ

ノハナシ然レハ堅強ナルモノヲ攻ムルニ水ニ勝ルモノ

ノナク又水ニ易フベキモノナク水ニカギレリ木ノ堅

クシテ切りガタキモ水ニ浸セバ柔カナリ革ノ強クシ

テ斷チガタキモ水ニ漬セハ軟カナリ石ノ堅キモ水ニ

テ穴アキ堤ノ固キモ水ニテ壞ルコレソノ強ニ勝チ剛

ニ勝ル様ヲ知ルベシ

弱之勝強柔之勝剛天下莫不知莫能行

義解 サレバ弱ノ強ニ勝チ柔ノ剛ニ勝ツノ理ハミヤスキ

一ニシテ天下人々知ラザルモノナシ然レハ亦能ク行

フモノナキナリ

是以聖人云受國之垢是謂社稷主受國之不祥是謂天下王

訓字 國ノ垢トハヨゴレナリミグルシキナリ王侯自ラ孤寡不穀ト稱シ玉フ類ヲ受國之垢ト云社稷主トハ社ハ土ノ神ヲ祀リ稷ハ五穀ノ神ヲ祭ルコノニツ國ニ於テ大切ノミヤナリ故ニ社稷ノ主トハ直クニ國君ノ一ナリ祥ハ善ト訓ス不祥トハ上ノ垢ト云ニ同ジ只韻ニヨリ文字ヲ換ヘクリ返シテ云ノミ

義解 ソレカルガ故ニ古聖人ノ金言ニ曰己ヨキモノニナラントセズシテソノ身ニ國ノ垢ヲウケ自ラ孤寡不穀ノカズナラヌモノト名ノリ玉ヒ身ヲヒキ下ゲ玉フ人コレゾ社稷ノ主ニシテ尊キ一國ノ君ト謂フナルソノ

身國ノ不善ヲ引キウケ自ラ孤寡不穀ノヨカラヌモノト名ノリテソノ身ヲ謙リ玉フ人コレゾ天下ノ王ト謂フナル弱ノ強ニ勝チ柔ノ剛ニ勝ツト如此

正言若反。

義解 強ノ弱ニ勝チ剛ノ柔ニ勝ツコレ天下衆人ノ常言ナリ弱ハ強ニ勝チ柔ハ剛ニ勝ツベシト云正論ハ常人ノ云所トハ反ナリ衆人ノ耳ニハ入ラザルモ宜ナリ

七十九章

章意 コノ章人ノ世ニ處ル勸辨薄ク吟味強クシテ人ヲ責メ咎ムルハ怨ヲトルノ本ナリタゞ從容寛恕

ニシテヨク人ヲ容ルベシコレ其一生心安キ世ヲ
涉リ無難ナルベキノ道ナルヲノブルナリ漢ノ
司馬遷ガ伍子胥ノ舊君ヘ父ヲ殺セシ怨ヲ報ゼシ
ヲラシルシテ怨毒ノ人ニ於ケル甚シキ哉君ノ臣
ニ怨マレマルスライカシスベカラズ實ニ懼ル
ベキモノナルヲノバタリ釋迦如来云今世ニカ
スカナル怨モ猶イツマデモ消亡セズ未來世ニハ
イトツハゲシキ怨トナリ生々世々對生シテムク
イクテ止ム時ナシト説ケリ章内專怨ヲトルヲ
戒ムコレ聖賢禍難ヲ未然ニ防ガシメラルル深切

和大怨必有餘怨安可以爲善

明訓ナリ
義解ソレ小火ハ唾ニテモ消スベケレト大火トナリテハ

水打チカケテ消シ得ルトモ必火氣残りテ中々熱キモ

ノナリ以上人ノ怨モ亦然リ大怨ニ至リテハタトヒ中

ニ扱フ人アリテ一旦和解シテ面ヲ革メウツクシクミ

ユトモ心ノ底ハトケヤラズ必怨ノ餘ルモノナリコレ

ナンゾ善トスベケン只始メヨリ人ノ怨ナキ様ニスベ

キナリ

是以聖人執左契而不責於人

訓字 契ハ手形ナリ一枚ヲニツニ割り左契ハ借リタル者

持チ右契ハ貸シタル者持チ左契ハ引キ合ハセル為マ

デノ物ナリ右契ハソレニテ責ハタルナリ故ニ執左契

トハ人ヲ責メザルヲ云ナリコノ解今他説ニ從フ王

註ト異ナリ

義解 ソレタゞ始メヨリ人ノ怨ナキニシカズ是ヲ以テ聖

人ノ世ヲ涉リ玉フハ人ノ心ノ同ジカラザルヲハソノ

面ノ異ナルガ如シイカデ我ニヒトシキ人アラシ人ノ

届カヌヲ見ノガシ人ノ至ラザルヲキ、ステニシテ譬

ヘバ物ノカリカシニ左契ヲ持チタル者ノ如ク人ヲ責

メ咎メ玉フヲナシ因テ人ヨリ怨ヲウケ玉フヲナク人
ノ和グ心ヲ得テ心安キ月日ヲ過ギ玉フヲナリ

有徳司契無徳司徹

訓字 契ハ左契ノ一ナリ上文ニ照シテ省ケルナリ司ハ頭

取ルナリ主トスル一ナリ徹ハ明ナリ人ノ過惡ヲ目ニ

ツケ見出スナリ

義解 有徳人ハソノ量廣クシテヨク人ヲ容レ左契ヲ持テ

ル如ク人ヲ責メトガメダテシ玉フヲナシ無徳人ハ勘

辨薄ク吟味強クシテ人ノトゞカヌヲサガシ人ノ至ラ

ヌヲ見出ス一ヲ主トスルモノナリ

天道無親常與善人

訓字 與ハ助クルノ意ナリ善人ハ即有徳者ノ一ナリ

義解 ソモク天道ハ私ナキモノニテ誰ヲトリ分ケ親シミ

玉フ一ナクタゞ常ニ善人ヲ助ケ玉フ一ナリサレバ勤

辨厚キ人ハ人ノ怨少キノミナラズ天道モ亦助ケ玉フ

モノナリ

八十章

章意 コノ章ハ老子周ノ末ニ生レ當時文勝チ事繁ク

人々貪リ求ムル風儀トナリ終ニ天下騷ガシキニ

至ル一ヲ目撃シテ清淨無為ノ治ヲ施シ文ヲ止メ

事ヲ寡クシテ上古聖人ノ時ノ如ク上下モ口共ニ

和樂セル世ニ返サン一ヲ思フテノベタルナリ門

人大脇寅之助 國學ニ精シ嘗テ云國學ニ所云全ク老子

ノ説ニ同ジト想フニ我邦神代ノ昔モカ、ル風儀

ナルベシ

小國寡民使有什伯之器而不用

訓字 什佰即十百ナリ假リ用キタル字ナリ十百ノ器トハ

十品百品少シバカリノ器物ナリ

義解 世ハ次第ニ文勝チ事繁クナリユキテ昔一ツニテ足

リシ器モ後ニハ三ツ五ツモ具ヘモチ猶ソレニテモ足

ラズトスル一ニハナレリカクテハ物ノ足ルトキナシ
 モシ國ヲ治ムルニ清淨無為ノ化ヲ以テスルトキハ文
 ナク事寡キ風俗トナリタトヒ土地ツマリ人民寡ク物
 事不自由ナル處タリ氏人々貪リ求ムル心ナキノミナ
 ラズソノ具ヘ持テタル纔十品百品ノ器モソレ猶用
 ルニ及バズシテ事足ルヤウニアラシムベシ

使民重死而不遠徙。雖有舟輿。無所乘之。雖有甲兵。無所陳之。

訓字 甲兵ハ軍兵ヲ云ナリ

義解 ソレ民ハ貪リ求ムルガ故ニ利ノカセギニハ死ヲモ

イトハズシテ住ミナレシ里ヲハナレ海山越エテ知ラ

又他國ヘモ行ク一ナレ氏今ソノ民ヲシテ貪リ求ムル
 一ナカラシメテ死ヲ重ンジテ身ヲ自重イトヒ他所他國ヘ徙
 ル一ナカラシムベシソレ舟車モテ通フハ求メアレバ
 ナリ甲兵モテ戰フハ貪レバナリ今ハ求メナク貪ル一
 ナケレバ舟車アレ氏乘リテ外ヘ行ク一ナク甲兵アレ
 氏陳ネテ人ト戰フ一ナカラシムベキナリ

使人復結繩而用之。甘其食。美其服。安其居。樂其俗。隣國相望。鷄犬之聲相聞。民至老死不相往來。

訓字 結繩ハ易ニモ出ヅ上古ハ文字ナシ約束ゴトハ繩ヲ

結ビテ心覺エトセシバカリナリト云ヘリ相望トハツ

バクフナリ相聞トハ至テ近キヲ云ナリ

義解 サレバ下ノ風儀ヲモ一變シテ民ヲシテ事寡ク偽少

ニシテ繩ヲ結ビテ用ウルノミナレモソノ約束ニ違フ

モノナク上代ノ如キ世トナラシメ藜ノ羹ヲ甘シトシ

麻ノ衣ヲ美ナリトシ、ハニフノ小屋ヲ安シトシ野ノ末

山ノ奥モ住メバ都足レリトシテ餘所ヲ羨ミ思フ心ナ

ク貪リ求ムルナケレバ隣國相望ミテ人ノ住家程近

ク雞犬ノ吠ユル聲相聞ユル程ナレモソレナホ年老イ

身罷ルマデタガヒニ往來スルナク閑ニシテ安カラ

シムベシコレゾ上代神聖ノ世ノスガタナル

八十一章

章意 此章老子一部ノ結局ナリソモく老子教ノ主意

ハ己ヲ修ムルニ虚ヲ以テシ世ヲ涉ルニ不爭ヲ以

テスルヲ第一義トス故ニコレヲ以テ卷尾トス亦

丁寧深切ナリ

信言不美。美言不信。

義解 殊ニ若ク容ヨキ人ノ言ウルハシキハ忘レガタク思

ハル、モノナリト 以上徒然草 サハイヘ眞實ノ言ハ美シク

カザラズ美シクカザレル言ハ眞實ナラザルナリ

善者不辯。辯者不善。

義解 万ノ咎アラジト思ハッ言スクナカラニシカズト
上サレバ善者ハ多辯ナラズ多辯者ハ善者ナラザルナ
リ

知者不博博者不知

義解 一生ノ内ニ要トアラマホシカラシテ案ジ定メテ
ソノ外ハ思ヒ棄テ、一事ヲ勵ムベシ上トモ云ヘバ知
者ハ只我イルベキ肝要ノコトヲ知リテソノ餘ノ事ニ
博ク渉ルヲハセザルナリモシイル事イラザル事ノ分
チナク取雜博ク渉ル者ハ心外馳シテ肝要ノ事ニ疎シ
知者ニハサセルヲハアラザルナリ後世陸象山王陽明

ノ學朱子ヲ指シテ支離トナシタゞ吾心ヲ主トスルノ
說知者不博ノ意ニ近シ

聖人不積既以爲人已愈有既以與人己愈多

訓字 不積舊解虚ノ一トス吳澄亦同案ナリ只下文虚ノ一
ニテ說キガタシ故ニ財ノ一トス既ハ盡ナリ

義解 聖人ハ己ニ財ヲ積聚ズシテ盡ク以テ人民ノ為ニ用
斗玉ヒテ己愈有ルナリ盡ク以テ人民ニ與ヘ玉ヒテ己
愈多クアルナリ國ハ君ノ國ナリ故ニ國豊ナレバ即君
ノ豊ナルナリ故ニ己愈多シト云 仁徳天皇ノ御詞ニ
民ノ富メルハ即朕ノ富メルナリトノ玉ヒタルハ即コ

ノコトナリ世ニ稀ナル難有御詞ナリ唐ノ陸贄曰散小
儲成大儲盡ク以テ人ニ與フルハ散小儲ナリソレニテ
國天下ノ富ムハ成大儲ナリ老子戰國ノ時聚斂ノ慘ナ
ルヲイタミ卷末ニ於テ君民一體ノ義ヲ述ブ其意極メ
テ深切ナリ

天之道利而不害。

訓字 利ハ天ノ物ヲ生ジ育テ玉フヲ云
義解 凡ソ天ノ道ハ万ノ物ヲ利シ玉フノミニテ害シ玉フ
一ハナキナリサレバ秋タチ冬ニナリ百ノ草木ノシボ
ミ落ツルモ天ノ殺氣ヲ施シテ害シ玉フニハアラズ下

ヨリ萌モハルニタヘズシテサキナル葉ノ落ツルナリタ
ゞ生シミシテ利スルノミナルハコレ天地生物ノ心ナリ

聖人之道為而不爭。

義解 聖人ノ道ハ無為ヲ以テ為シテ人ト争ヒ玉フナキ
モノナリ争ハ角アル物ノ角ヲ觸レキ牙アル物ノ牙ヲ露
ス類ナリ人ニハアルマジキ一ナリサレバ人君己ヲ虚
ニシ物ト争ヒ玉ハザレバ天下自ラ平カナルベキナリ
餘論 吾儒ニ云君子無所争佛家亦不爭ト云ヘル由今老子
コレヲ以テ全部ノ結トスソノ意蓋深シ

吾謂之曰吾子無所不為亦不事也云云由今觀之
 二曰亦不事也五八曰天不與也平曰天不與也
 六曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 七曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 八曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 九曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十一曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十二曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十三曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十四曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十五曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十六曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十七曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十八曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 十九曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十一曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十二曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十三曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十四曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十五曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十六曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十七曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十八曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 二十九曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十一曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十二曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十三曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十四曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十五曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也
 三十六曰天不與也人二八曰天不與也平曰天不與也

老子講義終

五千之言非獨為陶令耳喜而後予載
 之下有得焉者可以備身可以煉性一の治
 國矣豈謂之異端哉孔子猶龍之學
 不誣也我牧山先生為侍講王舊藩主
 玄回今之日嘗進講老子之旨深乃
 命先生自編達上遂為一書請欽義之
 去有年予之始治十一年者苦信其

原稿然先生少留行若溫樹之意也
於乞收拾其零稿斷簡補綴推諉僅通
之之意以為十讀必如一畫遂騰寫一本於
之文字錄之為體也分章意思字訓解義
三項附之以餘論之者揮奇趣辨晰玄妙
密之又密精之又精使讀之超然而至
活然之域是靖嘗歛請先生少之梓公

于此而未果也聖肆靜觀堂主人少生
先生之門口聽之謹法自得整而筆記者
欲占之梓先獲我心乃出金騰寫本比較
定正已就結矣夕服部士辰後聖之記
按之靖之思之有力言抑乎之之之可報
玄妙而晰精密不待口授而瞭焉期千
載之不朽矣讀者果之之之與則備身

煉性河國之方求他足其刻成
主人來徵一言乃錄其數志告讀者
明治十七年甲申七月上浣

市卷靖識併出



Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

後序

道德經二卷五千餘言自古舉異端者必以爲
稱首排以斥之注注累數千百言而僅僅五千
餘言至今不泯滅者其必有以也嘗竊考以老
子觀周室之末運故其說如此但其屬辭高妙
幽玄其意有不易窺測者焉雖然善讀者深味
有得未必不為救時靈世之用也後世注者十
數家率徒玩高妙幽玄之辭不詳其意所在於
是清談脩養人觀其弊不察其所曰排以斥以

終不一得其用。竊為此書惜之。秋奮藩侯好道
德經家翁之嘗侍于經筵也。命而講之。乃錄講
義若干卷。而上之。事在二十餘年前。吾聞當時
封內治平。上下和睦。蓋雖曰由明良遭遇。此書
未火。不為裨補也。然則或稱害道甚。或稱慘礫
少恩者。非深知老子者也歟。
明治十七年夏八月。成堂佐滕雲韶撰。



方外居士書

跋

自古解老子者多矣。或混儒或混佛
或混列莊諸子。夫儒自儒佛自佛其
說皆異。老子異若夫列禦寇莊周特
恬淡一途而已。生於老子蓋似而非
者耳。乃屑之於混而一之。叩槃為日
捫盃為月。無惑乎老子之益解而益
不可解也。獨我牧山先生則不然。先

生儒者也其說四子六經純然粹然
不毫雜異端之說而及其講老子則
專求其本義不混儒不混佛又明辨
列莊諸子之不同乃雖間有引及之
者亦皆一時例證而其要終歸於因
應變化蓋譬之庖丁之解牛因其固
然導其却窾若然嚮然莫力駭然老
子之所以為老子者於是乎見無復

往日之質也門人侍講惟各有草
記而又其極詳備者書賈三輪子
郁亦從先生學見之大喜請公之于
世先生乃使拱等參校刻成又命為
之跋

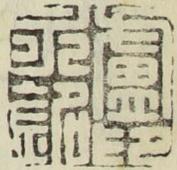
明治甲申秋

門人服部拱謹撰



光緒甲申仲秋

方子銘書



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '光緒甲申仲秋' and '方子銘書']

跋

世讀老子者之鮮也。余知之矣。其文簡約。而其意深遠。是以難曉。夫唯難曉。是所以讀者之鮮也。我牧山先生。精於老子。其講之也。使學者立得其意。曩者為藩主玄同公。著講義。余嘗欲請其稿本上之梓。先生不聽。會得茲編。同出於先生。乃請名講義。以附剞劂。余刺茲編也。非啻欲射利而已。抑有故焉。余家累世以鬻書為業。余承祖先之遺業者也。欲中興家聲者久矣。嘗自以為商必有道。宜先讀書而索其道。而後為商。亦何為遲。偶參寥道人來。余乃問之。道人曰。然。商固有道。在定心為難。我定心也。子欲得道。宜學佛老之道。商之道。與佛老之道無異。若不能得其道。必勿張商業。或有苦心焦思。遂傷肺肝也。余聞此言。不勝感銘。是余之所以入先生之門之原由也。癸未之春。先生講

老子。余喜而聽之。至其第二十一章。道之為物。惟恍惟惚。惚兮恍兮。其中有象。豁然若得大意。自以為獲玄珠矣。又以為為讀書。蓋極於此矣。爾來臨事。無大無小。莫有苦心焦思。而胸中常坦然。道人之言驗矣。於是始知老教之當貴也。雖然。余非聞先生之講述。安得至於此。余既聞之。不忍獨享。欲使未學者又知此道。是余之所以請於先生而刻之也。余既刻之。亦可不一言以述其所見哉。夫老子之意。其要在使人知常道而心不動矣。故其為書。或述道之體。或明道之用。守其體。則有益於養生。用其用。則有利於百事。利矣哉。道是為跋。
明治甲申孟秋下澣 靜觀堂主人三輪文拜識



四價壹圓五十錢

明治十七年三月廿一日 版權免許
同 十七年十二月 出版
同 廿五年四月一日 印刷
同 廿五年四月五日 再刻出版

故人

著者 佐藤楚材

版權所有無發行印刷者

三輪文次郎

愛知縣名古屋市鐵砲町七拾九番戶



